

事業名	事業内容	令和5年度実施内容
<b>基本施策1 地域におけるネットワークの強化</b>		
自殺対策連絡協議会	関係機関及び行政機関が連携し、総合的かつ効果的な自殺対策の推進を図るため自殺対策連絡協議会を開催します。	葛飾区の自殺の状況や自殺対策の取り組みについて情報共有するとともに、関係機関との連携等について意見交換を行いました。（令和6年2月7日開催）
自殺対策検討分科会	庁内関係各課が連携し、自殺対策について検討する場として、自殺対策検討分科会を開催します。	相談内容ごとのつなぎ先を確認し、各課の連携を強化したとともに、自殺の実態把握、葛飾区自殺対策計画の推進、関係機関との連携等の協議を行いました。（令和6年3月書面開催）
自殺対策相談窓口連携会議	令和2年3月に策定した『葛飾区自殺対策計画』に基づき、「地域におけるネットワークの強化」として、「自殺対策相談窓口連携会議」を新規に立ち上げました。各種相談窓口が連携し、自殺対策について効果的、効率的な支援体制を構築します。	葛飾区の自殺の状況を情報共有するとともに、各課の取組を報告しました。また、相談内容ごとのつなぎ先を確認し、各課の連携を強化しました。（令和6年3月書面開催）
<b>基本施策2 自殺対策を支える人材の育成</b>		
一般区民への研修	区民の方にゲートキーパー研修を受講してもらうことで、身近な人が抱える問題等に気づくことができ、必要に応じて適切な窓口へつなぐ等、気づき役、つなぎ役を担えるようにしていきます。	自殺対策では、様々な悩みや困難を抱えている人に対して、早期に「気づき」、「受け止め」で、適切な関係機関に「つなぐ」ことが重要です。これらを行う人材を育成するため、ゲートキーパー研修・講座を実施しています。 令和5年度は、ゲートキーパーとして家族や友人等の身近な人の悩みに対応できるよう、区民を対象にした研修を2回開催するほか、新たに民生委員・児童委員と高齢者総合相談センター職員にも研修を開催しました。また、研修の受講者には、相談窓口を確認できるQRコード入りの修了証を交付しました。
区職員向けゲートキーパー研修 民生委員・児童委員向けゲートキーパー研修 高齢者総合相談センター職員向けゲートキーパー研修	ゲートキーパー研修を実施し、区民の心の危機のサインに気づき、寄り添い、受け止めるなど、自殺を防ぐために必要な知識やスキルを身に付けていきます。	【令和5年度ゲートキーパー研修 実施状況】受講者数 186人（R6年2月13日現在） <ul style="list-style-type: none"> <li>・区民向け R5年7月14日 ウィメンズパル</li> <li>・民生委員、児童委員向け 9月 6日 青戸地区センター</li> <li>・区職員向け（管理監督者） 11月16日 ウィメンズパル</li> <li>・区職員向け（一般職員） 11月17日 ウィメンズパル</li> <li>・民生委員、児童委員向け 11月17日 青戸地区センター</li> <li>・高齢者総合相談センター職員向け R6年 2月13日 金町地区センター</li> <li>・区民向け 3月 7日 健康プラザかつしか</li> </ul>

事業名	事業内容	令和5年度実施内容
<b>基本施策3 区民への啓発と周知</b>		
自殺予防週間の啓発活動	<p>国の自殺予防週間や、都の自殺予防月間に合わせ、講演会やパネル展、横断幕の設置、区のホームページなどで周知を行います。9月と3月の自殺対策強化月間に、広報かつしかやかつしかFMなどで自殺対策の紹介を行い、区民への周知・啓発を行います。</p>	<p>東京都の自殺対策強化月間である9月及び3月に、区も積極的に普及啓発を行っています。</p> <p>令和5年度は、区役所区民ホール等において自殺予防に関するパネル展示を行うとともに、広報かつしかへの自殺対策の特集記事の掲載や、区役所等の区施設にあるトイレに相談窓口案内カードを設置しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① パネル展示 葛飾区役所区民ホール等で、「自殺に関する相談窓口の紹介」や「うつ病・健康に関する知識の普及啓発」に関するパネル展示を行いました。</li> <li>② 区民ホール電光掲示板への掲載 葛飾区役所区民ホールの電光掲示板に、セルフストレスチェックや相談窓口の紹介等自殺予防の情報を掲載しました。</li> <li>③ 相談窓口案内カードの作成・配布 相談窓口を掲載したカードを作成し、区施設のトイレに設置しました。</li> <li>④ 広報かつしか 自殺対策特集記事の掲載 年2回（9月頃及び3月頃）自殺対策の特集記事（セルフストレスチェックの掲載、健康に関する相談窓口や自殺に関する相談窓口の紹介等）を掲載しました。</li> </ol>
区広報媒体を利用した普及啓発	<p>区ホームページで自殺対策専用のコーナーを設け、区民に情報提供を図ります。区ホームページには、気軽にこころの状態をチェックできる「こころの体温計」を利用できるようにしています。</p>	<p>広報かつしか、ホームページなどを積極的に活用し、区民や関係機関に向けて普及啓発を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報かつしか（再掲） 年2回（9月頃及び3月頃）自殺対策の特集記事（セルフストレスチェックの掲載、健康に関する相談窓口や自殺に関する相談窓口の紹介等）を掲載</li> <li>・自殺対策に関するホームページの随時更新</li> <li>・こころの体温計 延べ利用者数 25,178人（令和5年4月1日～12月31日）</li> </ul>
相談窓口一覧リーフレットの配布	<p>区民向けの相談窓口一覧を、区民事務所や図書館に設置するとともに、中学生にも相談窓口一覧を作成し、全員に配布し周知を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談窓口リーフレット配布 区内施設、各課窓口等に配布します。（3月配布。計2,000部） ※令和4年度から、リーフレットのデザインを一新し、支援者向けの内容から当事者向けの内容へ変更。</li> <li>・ハンカチ型リーフレット配布 児童・生徒向けの電話相談窓口を周知するため、ハンカチ型リーフレットを区内の新中学1年生に配布しました。</li> </ul>

事業名	事業内容	令和5年度実施内容
自殺対策講演会	自殺に関連の深い、うつ病、依存症、統合失調症などの精神疾患をテーマに、講演会を開催します。	<p>【講演会の実施状況】</p> <p>①自分でできる心の整え方 日 時：令和5年9月24日（日） 講 師：藤澤 大介 氏（慶應義塾大学病院 精神科医） 場 所：健康プラザかつしか 参加者数：15人</p> <p>②睡眠とメンタルヘルス～質の良い眠りのヒント～ 日 時：令和6年2月14日（水） 講 師：相良 雄一郎 氏（相良労働衛生コンサルタント事務所 所長・睡眠学会専門医） 場 所：青戸地区センター 参加者数：42人</p>
その他		<p>① 区民大学情報誌「まなびぶらす」 区民大学単位認定講座としてゲートキーパー研修・講演会を掲載</p> <p>② 教育広報「かつしかのきょういく」 子ども向け電話相談やSNS相談について掲載</p> <p>③ 健康診査事業案内に記事掲載 健康づくり課と協働し、20代30代または3歳未満の子を持つ親向けの健診案内に、「こころの体温計」の記事を掲載</p>
<b>基本施策4 生きることの促進要因への支援</b>		
救急医療機関と連携した自殺未遂者支援	区内救急医療機関と連携し、自殺未遂者に対して生きるための支援を行います。	<p>区は、自殺企図や自殺未遂等により医療機関を受診した区民の再発を防止するために、救急医療機関と連携を行っています。当事者の同意が得られた場合、医療機関から情報提供を受け、各保健センターにおいて退院後の相談支援を行っています。令和3年10月から、従来の区内2医療機関に加えて、3次救急である区外2医療機関と連携を開始し、計4か所の医療機関と連携しています。</p> <p>【連携先の医療機関】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京慈恵医科大学葛飾医療センター</li> <li>・平成立石病院</li> <li>・墨東病院（3次救急）</li> <li>・東京女子医科大学附属足立医療センター（3次救急）</li> </ul>